

金城学院大学における公的研究費の不正防止計画

金城学院大学において「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成 26 年 2 月 18 日改正 文部科学大臣決定）を踏まえ公的研究費の適正な運営・管理を行うため、次のとおり不正防止計画を策定する。

機関に実施を要請された事項	不正発生要因及び課題	具体的防止計画
1. 機関内の責任体系の明確化		
・ 責任と権限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 責任者が責任と権限を十分に理解していない。 ・ 時間の経過により、責任と権限の認識が低下しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学長、学部長、大学事務部長及び総務部長が、部局における対策とその実施状況の確認を定期的に行う。 ・ 責任者とその役割をホームページで常に公開し、学内外に周知する。
2. 適正な管理・運営の基礎となる環境の整備		
・ ルールの明確化・統一化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究者および事務担当者が、文部科学省、日本学術振興会等の配分機関が定めるルールについて十分に認識していない。 ・ 公的研究費の仕組みに対する、関わる全ての構成員の理解が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文部科学省、日本学術振興会等の配分機関からの通知や開催される説明会に参加し、ルールの変更点を理解する。 ・ 研究者が適切なルールの運用を理解できるよう、変更点を基に「科研費マニュアル」を作成する。 ・ 関わる全ての構成員に対して、コンプライアンス教育を実施し、誓約書を徴取する。
・ 関係者の意識向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公的研究費が公金であるという意識が希薄している。 ・ 機関における内部牽制体制が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関わる全ての構成員による、定期的な勉強会等を行ない、意識の向上を図る。
・ 告発等の取扱い、調査及び懲戒に関する規程の整備及び運用の透明化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取組方針が定まっていないため、牽制機能が有効に働かない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不正が起こった場合の、告発の取扱い、調査、懲戒に関する規程等を整備する。

3. 研究費の適正な管理・運営活動		
・ 予算の執行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度末に予算執行が集中する等、研究計画通りの研究費使用ができないと、執行状況のモニタリングができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該年度の研究開始時に年間の物品購入計画書を徴取し、執行状況を定期的にモニタリングする。 ・ 定期的に予算の執行状況を研究者に通知し、必要があればヒアリング、繰越制度を勧める。 ・ 真に当該研究に必要なだと判断できない場合は、公的研究費からの支出を認めない。
・ 発注体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一定金額以下の支出については、研究者発注を認めている。 ・ 研究者、事務担当者、業者間の癒着を防ぐ対策が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検収は全て事務局で行うこととし、発注者と検収者を別の者とする。 ・ 業者との癒着を防止するため、不正防止対策に関する方針及びルールを年度初めに周知徹底し、前年度に一定額以上の取引実績を持つ業者から誓約書を徴取する。
・ 旅費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前精算で旅費が支出されると、カラ出張や不必要な宿泊を防止できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出張完了後、出張報告書による事後精算とする。 ・ 真に当該研究に必要なかつ合理的な行程だと判断できない場合は、公的研究費からの支出を認めない。
4. 情報の伝達を確保する体制		
・ 不正防止計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機関における不正発生要因の認識ができていないと、不正を防止する対策等を講じられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最高管理責任者が率先して対応することを機関内外に表明するとともに、実効性のある計画の進捗管理に努める。

金城学院大学
学長 奥村 隆平